



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主 確定日	3月31日、9月30日 その他必要あるときは あらかじめ公告して定めた日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主名簿管理人および 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 Tel. 0120-232-711(フリーダイヤル)
上場証券取引所	東京証券取引所 札幌証券取引所
公告方法	電子公告により行う (http://www.hokkanholdings.co.jp/)に 掲載いたします。ただし、事故その他やむを得 ない事由により電子公告をすることができな いときは、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続き
につきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会
社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証
券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託
銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては
は、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記
特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせくだ
さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたしま
す。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支
払いいたします。



HOKKAN HOLDINGS

ホッカホールディングス株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内二丁目2番2号
TEL03-3213-5111 (代表)

URL: <http://www.hokkanholdings.co.jp/>



株主優待のお知らせ

毎年3月31日(基準日)現在の株主名簿に記載された株主様
に対し、当社グループの容器に入った缶詰を年1回、以下のとおり
贈呈いたします。

贈呈基準

1,000株以上 5,000株未満
—— 2,000円相当の缶詰詰合せ

5,000株以上 10,000株未満
—— 3,000円相当の缶詰詰合せ

10,000株以上
—— 5,000円相当の缶詰詰合せ



この冊子は環境への配慮のため、FSC森林認証紙と
ベジタブルオイルインキを使用しています。

ホッカホールディングス株式会社

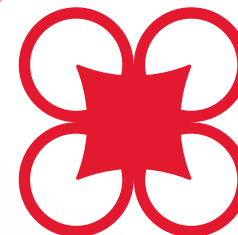


株主の皆様へ

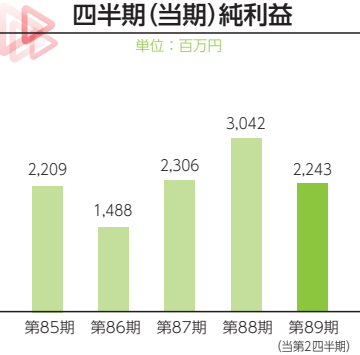
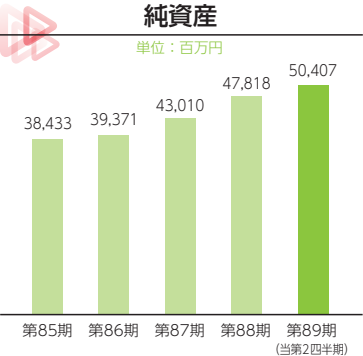
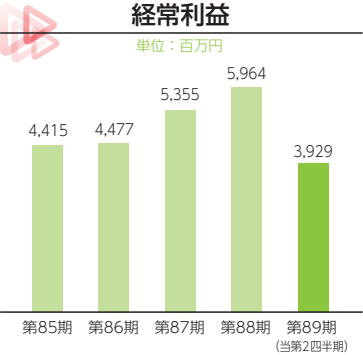
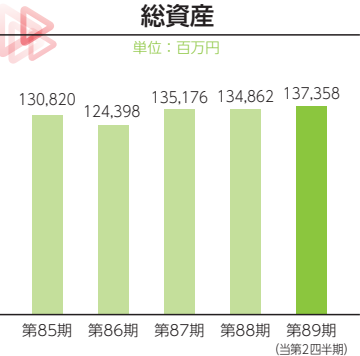
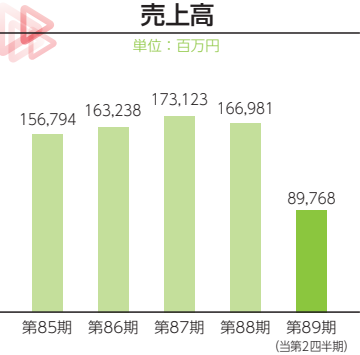
HOKKAN REPORT Vol.16

第89期上半期 株主通信

2013年4月1日～2013年9月30日



HOKKAN HOLDINGS



項目		第85期	第86期	第87期	第88期	第89期(当第2四半期)
売上高	(単位:百万円)	156,794	163,238	173,123	166,981	89,768
経常利益	(単位:百万円)	4,415	4,477	5,355	5,964	3,929
四半期(当期)純利益	(単位:百万円)	2,209	1,488	2,306	3,042	2,243
総資産	(単位:百万円)	130,820	124,398	135,176	134,862	137,358
純資産	(単位:百万円)	38,433	39,371	43,010	47,818	50,407
1株当たり四半期(当期)純利益	(単位:円)	32.84	22.12	34.29	45.23	33.36

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに、第89期上半期(2013年4月1日から2013年9月30日まで)の営業の概況ならびに計算書類について、ご報告申し上げます。

当上半期の業績および営業概況

当上半期におけるわが国経済は、新政権による各種政策の効果が一部で見られるなか、家計所得や設備投資は増加傾向にあり、また、輸出も持ち直すなど、景気は緩やかに回復する状況で推移いたしました。

このような情勢のなかで、当社グループは業績の向上を目指し、各分野で努力してまいりました結果、当上半期の連結総売上高は897億68百万円(前年同期比0.9%増)となり、営業利益は32億91百万円(前年同期比14.9%減)、経常利益は39億29百万円(前年同期比15.3%減)、中間純利益は22億43百万円(前年同期比5.7%減)を計上いたしました。

当上半期の清涼飲料業界における状況につきましては、9月は秋雨前線や台風上陸などの影響により大きくブレーキがかかったものの、総じていえば、空梅雨の影響や、夏場の猛暑、熱中症予防意識の高まり等により、大幅に需要が増えたため、業界全体では前年を上回る結果となりました。

カテゴリー別でみますと、缶コーヒーは、コンビニエンスストアで積極的に展開されているカウンターコーヒーが、アイスコーヒーなどのラインアップを拡充した



代表取締役社長

工藤 常史

ことが影響し、前年を割り込む結果となりましたが、炭酸飲料につきましては、特定保健用食品であるコーラ飲料を中心に引き続き好調を維持し、また、果汁飲料やミネラルウォーター、機能性飲料につきましても前年を上回る結果となりました。

食品缶詰業界につきましては、円安により輸入原料が高騰するなか、水産缶詰はサバやサンマをはじめとする水産原料の水揚げが、夏場の猛暑により海水温が高い状況が続いたため大幅に遅れ、前年を下回る結果となりました。また、農産缶詰につきましても、豪雨や突風など天候要因による原料事情の悪化により国内生産は減少いたしました。

事業別の概況

容器事業

飲料用スチール空缶につきましては、主力の缶コーヒー分野の市場が低調に推移するなか、当社グループでは受注製品の販売が好調でありましたため、飲料用スチール空缶全体では前年を上回る販売となりました。

食品缶詰用空缶につきましては、業界の動向に連動し、水産缶詰、農産缶詰ともに前年を下回る結果となりました。

つぎにプラスチック容器につきましては、積極的な営業活動を続けてまいりましたものの、お客様によるボトル成形から充填までの一貫生産の拡大の影響を受け、飲料用のペットボトルおよび無菌充填用プリフォーム（ボトル成形前の中間製品）は前年を下回る販売となりました。



また、食品用ペットボトルにおきましても、醤油ボトルは順調に販売され、前年を上回る販売となりましたものの、食用油ボトルが中元商品の販売低迷の影響を受けたため、食品用ペットボトル全体では前年を下回る結果となりました。

一般成形品につきましては、化粧品関連商品や農薬・園芸品関連商品が好調であり、また、バッグインボックスにつきましても前年並みの販売でありましたが、食器用洗剤等の減少が響き、一般成形品全体としてはほぼ前年並みの販売となりました。

エアゾール用空缶につきましては、殺虫剤関連が順調に推移いたしましたものの、消臭剤などの家庭用品や燃料ボンベ缶が海外からの製品輸入の影響を受け減少したため、前年を下回る販売となりました。

美術缶につきましては、お客様による他の包材への移行が進むなど業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いており、また、ギフト商品の低迷もありましたため、美術缶全体では前年を下回る販売となりました。

以上の結果、容器事業全体の売上高は、243億62百万円(前年同期比4.7%減)の結果となりました。

充填事業

缶製品につきましては、炭酸製品は前年並みに推移したものの、東日本地区ではコーヒー製品が新製品の受注やマルチパック対応等により増加し、また、西日本地区ではリシール缶（ボトル缶）が新製品の獲得を中心とした営業活動の結果、大きく増加したため、缶製品全体では前年を上回る販売となりました。

ペットボトル製品につきましては、無菌充填システムによる小型アセプティック製品は設備の定期修理の実施等により減産となりましたものの、ホットパック用小型および大型ペットボトル製品では、新製品の受注に加え、麦茶や緑茶、ウーロン茶等で大きく増産となりまし

たため、ペットボトル製品全体では前年を上回る販売となりました。

以上の結果、充填事業全体の売上高は、627億33百万円(前年同期比0.2%増)の結果となりました。

機械製作事業

機械製作部門につきましては、製缶機械や充填機等の受注の他、新素材のウッドプラスチックを利用したパレット溶融機を新規に受注してまいりましたが、カタログ製品である液体小袋充填機や自動車用クラッチ板への摩擦材貼り付け省力機械、金型製作事業等の受注が減少したため、機械製作事業全体の売上高は、6億64百万円(前年同期比9.6%減)の結果となりました。

その他

インドネシアにおいて容器（ペットボトル）製造から、内容物の充填までを一貫しておこなうPT.HOKKAN INDONESIAは、同国の高い経済成長率に支えられ、都市部を中心に飲料製品の購買機会は増加しており、コーヒー飲料(250ml)を中心に順調に受注いたしました。

また、本会計年度より、工場内の運搬作業等を行っております株式会社ワーク・サービスを連結の範囲に含めたことにより、その他全体の売上高は20億8百万円となりました。

下期へ向けて

下期のわが国経済の見通しにつきましては、世界経済を巡る不確実性は引き続き大きいものの、輸出は増加基調をたどると予想され、個人消費も底堅く推移するなど、引き続き緩やかな回復が続いていくと思われます。

このような状況のなかで、当社グループは、中期5カ年経営計画「ACTIVE-5」が3年目を迎えております。今年度は、過去2年間の取り組み成果を検証し、既存事業の



基盤の整備および再構築を推し進めてまいります。また、新規事業分野では新たな収益源としてコスメサイエンス社（化粧品製造会社・非連結）を子会社化いたしました。海外事業においてはインドネシアの著しい経済発展を視野に入れTPS事業の今後の展開を検討いたします。グループ内各組織の英知を結集させ、中期経営計画の最終年度の目標達成に向けて、更なる「既存事業の持続的成長」や「新たな事業展開への挑戦」を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

なお、通期の連結業績は売上高1,670億円、経常利益60億円、当期純利益31億円を見込んでおります。

以上ご報告のとおりでございますので、中間配当金につきましては、1株につき3円75銭とし、2013年12月9日にお支払いすることといたしました。

ホッカンホールディングスは グループ事業会社全体の力を統合し、 さらに高いレベルの「ものづくり力」を追求します。

当社は持株会社として、各事業を強化するとともに、グループ企業とのアライアンスの発展を図ってまいります。
そして、“最大より最高”をモットーに、品質と価格の両面を併せ持つ「ものづくり力」を高めてまいります。



容器製造／販売

食品用、飲料用などの空缶、ペットボトルなどのプラスチック容器の開発、生産、販売など幅広くおこなっています。

北海製罐株式会社

昭和製器株式会社
日東製器株式会社
東都成型株式会社
株式会社ワーク・サービス
PT.ホッカン・インドネシア
ホッカン・タイ
株式会社コスメサイエンス

「ホッカンエバーグリーン」は、同社のルーツである北海道の大地を象徴する緑、永遠の若さ、生命力を表しています。



充填

大手ブランドの飲料を空缶やペットボトルに充填する受託充填企業です。調合から物流までを請け負う総合力を持っています。

株式会社日本キャンパック

株式会社西日本キャンパック
日本キャンパック・マレーシア
日本キャンパック・ベトナム

「キャンパックアクアブルー」は、良質の水に恵まれた工場を持つ同社のメリットから、品質と潤いを表しています。



機械製作

北海製罐株式会社や株式会社日本キャンパックで使用する超精密度の金型から製造機械、総合一般の製造ラインまで提供する機械メーカーです。

オーエスマシナリー株式会社

KE・OSマシナリー株式会社

「オーエスプレシジョンオレンジ」は、超精密度を追求する同社の各種金型と各種製造機械の安全性を表しています。



HOKKAN HOLDINGS

COSMESCIENCE

株式会社コスメサイエンスを 北海製罐株式会社の完全子会社に

当社グループでは、2013年7月1日に株式会社コスメサイエンスの全株式を取得し、完全子会社化しました。

これにより、今後拡大が見込まれる化粧品受託充填市場において、容器開発、内容物開発、マーケティング、製造等の各分野でグループの強みを融合させることで、容器・充填を通じたさらなる幅広い商品・サービスの提供が可能となります。

当社グループは、今後もホッカングループの新たな事業領域の一層の拡大と収益力の向上を目指してまいります。



コスメサイエンスの代表的な商品



半自動4連充填ライン

株式会社コスメサイエンスの概要

会社名	株式会社コスメサイエンス
設立	1984年11月9日
資本金	80百万円
本社・工場	埼玉県朝霞市
事業内容	化粧品等製造



コスメサイエンス本社・工場

四半期連結貸借対照表(要旨)

科 目	当第2四半期 2013年9月30日現在	前期 2013年3月31日現在
資産の部		
流動資産	52,711	51,663
現金及び預金	1,715	1,470
受取手形及び売掛金	31,662	33,652
電子記録債権	5,143	3,098
たな卸資産	9,876	9,729
繰延税金資産	1,005	758
その他	3,327	2,975
貸倒引当金	△21	△20
固定資産	84,647	83,199
有形固定資産	59,443	60,319
建物及び構築物	20,859	20,733
機械装置及び運搬具	19,429	20,044
土地	15,791	15,788
リース資産	1,082	1,037
建設仮勘定	1,888	2,360
その他	392	356
無形固定資産	1,290	1,404
投資その他の資産	23,912	21,474
投資有価証券	19,530	17,632
繰延税金資産	57	95
その他	4,448	3,865
貸倒引当金	△123	△118
資産合計	137,358	134,862

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期 2013年9月30日現在	前期 2013年3月31日現在
負債の部		
流動負債	57,909	51,389
買掛金	29,441	28,754
短期借入金	19,266	12,385
リース債務	361	338
賞与引当金	855	800
その他	7,984	9,111
固定負債	29,041	35,654
長期借入金	24,473	31,125
リース債務	950	956
繰延税金負債	561	277
退職給付引当金	2,289	2,296
その他	766	998
負債合計	86,951	87,043
純資産の部		
株主資本	44,508	42,345
資本金	11,086	11,086
資本剰余金	10,750	10,750
利益剰余金	22,696	20,532
自己株式	△24	△23
その他の包括利益累計額	2,702	2,519
その他有価証券評価差額金	3,014	2,490
繰延ヘッジ損益	4	△5
為替換算調整勘定	△316	34
少数株主持分	3,195	2,953
純資産合計	50,407	47,818
負債純資産合計	137,358	134,862

四半期連結損益計算書(要旨)

科 目	当第2四半期 2013年4月 1 日から 2013年9月30日まで	前第2四半期 2012年4月 1 日から 2012年9月30日まで
売上高	89,768	88,930
売上原価	79,333	78,149
売上総利益	10,435	10,780
販売費及び一般管理費	7,143	6,914
営業利益	3,291	3,865
営業外収益	925	1,109
営業外費用	287	338
経常利益	3,929	4,636
特別利益	30	0
特別損失	100	541
税金等調整前四半期純利益	3,858	4,095
法人税・住民税及び事業税	1,369	1,685
法人税等調整額	△166	△342
少数株主損益調整前四半期純利益	2,655	2,751
少数株主利益	411	372
四半期純利益	2,243	2,378

(単位:百万円)

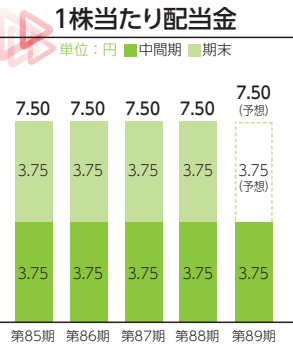
四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科 目	当第2四半期 2013年4月 1 日から 2013年9月30日まで	前第2四半期 2012年4月 1 日から 2012年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,400	3,972
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,315	△4,101
財務活動によるキャッシュ・フロー	△86	△884
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△50
現金及び現金同等物の増減額	△3	△1,063
現金及び現金同等物の期首残高	1,470	1,595
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	248	－
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,715	532

(単位:百万円)

利益配分に関する
基本方針

当社は、剰余金の配当等会社法第459条第1項各号に定める事項について、法令に別段の定めがある場合を除き、取締役会の決議により定めることができる旨を定款に定めております。剰余金の配当につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様への安定した配当をおこなうことを基本方針としております。



会社概要

商 号	ホッカンホールディングス株式会社 HOKKAN HOLDINGS LIMITED
本 社	東京都千代田区丸の内二丁目2番2号 丸の内三井ビル TEL03-3213-5111
設 立	1950 (昭和25) 年2月1日 (創立 1921 (大正10) 年10月23日)
資 本 金	110億8,652万4,995円
従 業 員 数	22名
事 業 内 容	(1) 各種空罐、容器の製造販売 (2) 清涼飲料水・酒類その他各種飲料の受託充填及び販売 (3) 各種機械の製造販売 (4) 機械器具設置工事業 (5) 倉庫業 (6) 土木・建築工事の設計、施工請負



役員

取締役社長 (代表取締役)	工 藤 常 史
専務取締役	田 村 秀 行
取締役	木 村 修 二
取締役	久 保 田 裕 一
取締役	山 崎 節 昌
取締役	池 田 孝 資
取締役	小 池 明 夫
常勤監査役	大 塩 恭 介
監査役	寺 嶋 勉
監査役	増 田 嘉 一 郎
監査役	新 名 孝 信

株式の状況

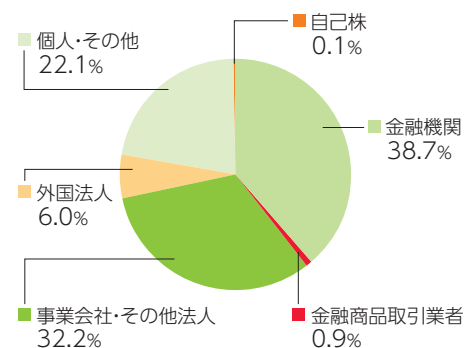
発行可能株式総数	240,000,000 株
発行済株式の総数	67,346,935 株
株 主 数	5,161 名

大株主

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社トーモク	5,926	8.81
日本生命保険相互会社	3,274	4.87
株式会社みずほ銀行	3,273	4.87
ホッカンホールディングスグループ取引先持株会	2,955	4.39
株式会社メタルワン	2,267	3.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,187	3.25
農林中央金庫	2,000	2.97
東京海上日動火災保険株式会社	1,805	2.68
株式会社北海道銀行	1,765	2.63
JFEスチール株式会社	1,565	2.33

(注) 持株比率は自己株式(73,920株)を控除して計算しております。

所有者別分布状況



当社のホームページでは株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、当社の事業活動や動向を紹介しております。

また、この度、**英文サイト**と**個人投資家向けサイト**を開設し、**IR情報メールの配信サービス**をスタートいたしました。

当社をよりご理解いただくためにも、是非アクセスしてください。

<http://www.hokkanholdings.co.jp/>

IR情報／電子公告



トップページ



英文サイト



**IR情報メールの
配信サービスに
ご登録ください!**

最新のニュースリリースやホームページの更新情報などを、ご登録の皆さまに電子メールにてお知らせいたします。



個人投資家向けサイト